# 稲作情報

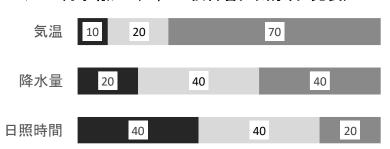
(出穂期~登熟期前半の管理)

令和4年度第5号 令和4年8月17日発行 福島県喜多方農業普及所、JA会津よつば、 喜多方市、北塩原村、西会津町

# 天 気 予 報

向こう1ヶ月の天候は、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。気温は高い確率70%、降水量は多い確率40%です。

### <1か月予報>(8/4 仙台管区気象台 発表)



■低い(少ない) ■平年並 ■高い(多い)

## これまでの生育状況

県農業総合センター会津地域研究所(会津坂下町見明)の作柄解析試験によると、幼穂形成始期はひとめぼれで1日、天のつぶで2日平年より早まりました。このため、出穂期も平年より早まることが予想されることから、斑点米カメムシ類の防除が遅れないよう注意してください。

#### 表1 品種別幼穂形成始期

	ひとめぼれ	天のつぶ	コシヒカリ
本年	7月7日	7月9日	(欠測)
前年	7月7日	7月9日	7月14日
平年	7月8日	7月11日	7月15日

※会津地域研究所の7/26時点のデータ

# 斑点米カメムシ類の発生状況

斑点米カメムシ類に加害されると、玄米にシミが生じ等級が低下します。喜多方地域では主に3種類のカメムシ類が斑点米の原因となっています。7/27にJAの実施したすくい取り調査によると、多くの地点で斑点米カメムシ類がすくい取られ、すくい取り数の多い地点もありました。

また、県病害虫防除所が 8/3 に発表した病害虫の発生予報によると、斑点米カメムシ類の発生 は平年より「**やや多い**」と予想されています。

## 斑点米カメムシ類の防除

- ・散布剤(粉剤・液剤)による防除は、<u>乳熟期(出穂期の7~10日後)</u>を基本とし、その後も発生が見られる場合は7日おきに追加防除を行いましょう。
- ・割れ籾が多いとカメムシ類による吸汁を受けやすくなるので、割れ籾の発生しやすい品種(天のつぶ等)では乳熟期に加えて出穂20日後頃に追加防除しましょう。
  - ・農薬の周辺への飛散を防ぐため、風の弱い朝方に散布するようにしましょう。また、農薬を 散布することを事前に周辺住民に伝えておくとトラブル防止になります。
- ・出穂後の畦畔等の草刈りは、水田内にカメムシ類を追い込む危険性があるため、原則行わないようにしましょう。カメムシ類は収穫直前まで被害を与えます。

表2 斑点米カメムシ類薬剤防除の例

	***		
薬剤名	使用時期	使用量	使用回数
スタークル液剤10	収穫7日前まで	140~150L/10a (希釈倍数1,000倍)	3回以内
キラップ粉剤DL	収穫14日前まで	3∼4kg/10a	2回以内
MR.ジョーカー粉剤DL	収穫7日前まで	3~4kg/10a	2回以内

※農薬の使用に当たっては、ラベルと最新の登録情報を確認してください。

## 水管理と適期刈り取り

#### (1) 出穂後の水管理

- ・出穂後は基本的に間断かん水を行い、徐々に田面を固めてください。
- ・<u>高温が続く場合は、昼間湛水・夜間落水</u>(または、自然落水)することで、日中の地温を 低下させ白未熟粒の発生を抑えます。なお、用水の状況を確認しながら行いましょう。
- ・落水時期は、出穂後30日以降を目安とします。落水時期が早いと玄米品質が低下します。

#### (2) 適期刈り取り

- ・出穂後の日平均積算気温を参考に、籾の黄化状況を確認して適期に刈り取りましょう。 ◇日平均積算気温の目安
  - ひとめぼれ950~1,000℃、天のつぶ1,000℃前後、コシヒカリ1,000~1,050℃
  - ◇籾の黄化率 85~90%
- ・収穫作業は、朝露が消えてから(午前10時頃)行いましょう。

#### 表3 日平均積算気温から見た収穫適期の目安

	ひとめぼれ		天のつぶ		コシヒカリ	
	喜多方	西会津	喜多方	西会津	喜多方	西会津
平年の出穂期	7/31		8/3		8/8	
予想刈取適期※	9/9~9/11	9/12~9/15	9/13~9/17	9/17~9/20	9/20~9/22	9/26~9/29

- ※出穂後の気温が平年並で推移した場合の予想刈取適期。
- (3) 乾燥時の注意点
  - ・乾燥温度は40~50℃程度、毎時乾減率は0.8%以下としましょう。急激な乾燥は胴割粒の発生を助長します。

#### (4) 米の放射性物質モニタリング検査

令和4年産米も旧市町村(昭和25年2月1日現在)毎に3点検査し、 出荷・販売の可否を判断しますので、結果が判明するまでは無償譲渡 も含めて出荷・販売しないようお願いします(集荷業者の倉庫への移動は可能です)。

なお、出荷・販売が可能となった地域については、県水田畑作課の ホームページで確認できます。



水田畑作課HP

気温が高い時間帯を避けて作業を行うとともに、こまめな水分補給や休憩時間を長めに取る など熱中症に気をつけて農作業を行いましょう。!

★本情報の内容や米づくりに関するお問い合わせ、相談はこちらへどうぞ。

会津農林事務所喜多方農業普及所 TEL: 0241-24-5744

JA会津よつば喜多方営農経済センター営農振興課 TEL:0241-21-1801